

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□1節□2項 ③町道の整備・維持管理
担当課・係名	土木課 維持管理係【問合せ・質問等の先（内線番号）		322番】

業務の名称	道路管理事業（官民境界等事務）					
(1)根拠法令・条例	測量法・不動産登記法					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 23.0%（係の総業務量を100%とする） 職員延人数： 80.5人・日（臨時雇用者延人数： 0人・日）					
(3)事業費 (人件費分を除く)	2,300千円（平成19年度決算（細目・細々目の実績から抽出・算定する）					
(4)補助率（補助金がある場合のみ記載）	0.0%（平成19年度実績）					
(5)業務期間	開始した年度	年度	終了（予定）年度	年度		
(6)業務の概要（簡潔に箇条書きで記載）						
①業務目的（達成目標）	道路や水路の幅員等の適正な管理を図ること					
②業務が対象とする住民（地域、層）	町が管理する道路水路等に接している土地所有者					
③業務の具体的な実施内容・方法（平成19年度実績）	町管理の道路水路等に接している土地の所有者から、土地の境界を決めたいとの申し出を受け、現地での立会にて境界（筆界）を決めています。					
④業務の実施結果（平成19年度実績）	土地所有者からの官民境界立会申請書の提出を受けて現場にて立会を行い、測量図等の資料や境界杭等に基づき境界（筆界）を決めました。					
	【業務結果の説明指標】					
		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1	官民境界立会申請件数		117件	105件		
2						
3						
4						
5						
⑤業務の成果（業務目的の達成状況）（平成19年度実績）	道路水路の境界（筆界）が明確化したことにより、当該地における道路水路用地の適正な管理を図ることができるようになりました。					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
		17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1	道路水路の境界の明確化			実施	継続実施	
2						
3						
4						
5						

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

旧市街地や調整区域においては、境界確定に係る経過などが複雑な事案が多いため、職員の知識や能力の向上を図る必要がある。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

官民境界立会申請書の受理から許可するまでの期間の短縮を図っている。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.0点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none">①. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	町管理の道路水路等に接する土地との境界（筆界）を明確化し、管理区分を明らかにするために必要である。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）